

長門の話題

Topics



市内保育園、小中学校で入園式・入学式

希望を胸に入園・入学

4月5日(金)、市内の保育園で入園式が行われ、665人の園児が入園しました。

みのり保育園では、140人の園児の前で、藤本英子園長が「明日からお友達や先生と元気いっぱい遊びましょう」とあいさつをしました。担任紹介のあと、園児全員で歌を歌い、交流を深めました。

4月8日(月)には、市内の小中学校で入学式が行われました。深川小学校では男子50人、女子36人の合わせて86人が入学しました。

入学式では、6年生の岩崎春留さんが、「何でも聞いてください。みんなで良い学校にしていきましょう」と歓迎のあいさつを述べました。

県知事表彰を大西市長に報告

消防団活動が評価される

3月28日(木)、山本県知事より表彰を受けた長門市消防団が大西市長に受賞報告を行いました。昨年11月13日未明に深川地区で発生した建物火災で、火災防御活動を展開し、住民を円滑に避難誘導、20世帯43人を避難させたことが大きく評価されました。

▼県知事表彰を報告した入江消防団長(左)



▲仲良くみんなで合唱(みのり保育園)
▼新入生一人ひとり名前が呼ばれる(深川小学校)



交通事故を減らすために

交通安全キャンペーン出発式

4月8日(月)、長門警察署で交通安全キャンペーン出発式が開催されました。

春の全国交通安全運動に合わせ、市内の企業、団体など約50人が参加して、ドライバ―に交通安全啓発グッズを手渡し、交通安全を呼びかけました。

▼白バイやパトカーによるパレードも行う



仙崎みずぐ通りの詩札リニューアル

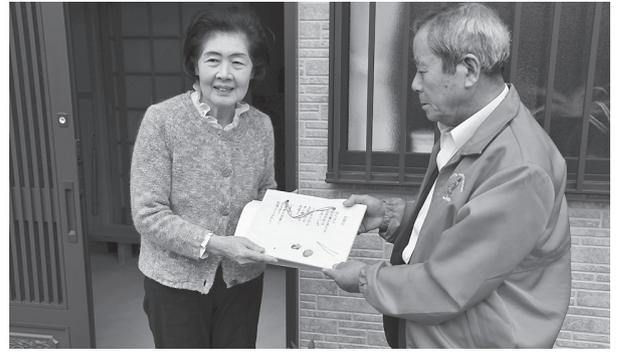
おもてなしの気持ちを表す

3月29日(金)、仙崎のみずぐ通りで、詩札のリニューアルが行われました。

詩札をみずぐ通りに掲げるこの取り組みは、12年前から始まり、これまで観光客の目を楽しませてきました。このたび金子みずぐ生誕110年と金子みずぐ記念館開館10周年を

迎えることから観光客へのおもてなしの気持ちを表そうと企画されました。

詩札は仙崎小学校の児童や仙崎中学校の生徒、地域住民らの手作りです。新しい詩札を渡された人は、「少しでもこの詩札でおもてなしができれば」と話していました。



第46回衆議院議員総選挙総務大臣表彰

公正、円滑な選挙に尽力

3月29日(金)、山口県庁で第46回衆議院議員総選挙総務大臣表彰が行われ、平田隆長門市選挙管理委員会委員長が受賞しました。この表彰は、衆議院議員総選挙において管理執行上問題のなかった選挙管理委員会の委員で他の模範となる人に贈られたものです。



JR美祿線にラッピング車両が登場

利用促進にひと工夫

3月28日(木)、JR長門市駅でJR美祿線ラッピング車両「長門車両」出発式が行われました。

これは、平成23年9月に運行を再開したJR美祿線の利用促進の一環として、沿線3市(長門市・美祿市・山陽小野田市)のJR美祿線利用促

進協議会がラッピング車両を各車で作成したもので、この日長門車両が完成しました。

長門市のラッピング車両は、山口芸術短期大学の2年生 田中英美さんによるもので、金子みずぐの「こだまでしようか」の詩を綴るようすを表現しています。

▼デザインした田中さんの合図でラッピング車両が出発



全国土地改良功労者表彰の受賞を報告

農地・水・環境を守る

4月3日(水)、全国土地改良功労者表彰の受賞報告会が長門市役所で行われました。

表彰を受けた日置南部土地改良区の江原清理事長ら3人が表彰状を手に市長室を訪れ、第54回全国土地改良功労者表彰金章受賞を大西市長に報告しました。



YYいがみまつり、賑わう

地域を盛り上げようと開催

4月7日(日)、「YYいがみまつり」が伊上公民館周辺で行われました。これは、伊上地区の住民で組織する実行委員会「YYいがみ」が取り組んでいるものです。

会場では、鮮魚販売、野菜など各種バザーやフリーマーケット、写真、絵画、習字な

どの展示が行われました。また、公民館前には、YY福引券を手に入れようと、多くの人が詰めかけていました。11時からは、恒例のいのしし肉の入った「YYいがみ鍋」200食分が無料で振舞われ、多くの人で賑わいました。



湯本温泉まつり開催

温泉の恵みに感謝して

4月7日(日)、湯本温泉音信川河川公園を中心に、湯本温泉まつりが開催されました。この日は雨のため、子どももこしは中止となりました。

会場の音信川河川公園には焼き鳥やフライドポテト、唐揚げ、ジュース、ラーメンなどの出店が軒を連ね、地元

小中学生や観光客らが来場しました。特に3回行われた餅まきは、大いに盛り上がりました。

この日夕方には、通常第一土曜日に行われる「おとずれ夜市じゃらんじゃらん」も開催され、アコースティックライブなどが行われました。



「こだまでしょうか杯」開催

空手道のさらなる普及を

3月31日(日)、「おいでませ! 山口 西日本空手道親睦大会 第1回こだまでしょうか杯」が開催されました。これは、「おいでませ!山口国体」で空手道の会場となったルネッサながとで開催されたものです。

今回は特に、学習指導要領の改訂により平成24年度から全国の中学校で「武道」が必

修となったことから、この大会を通じて、空手道の普及を働きかけることを目的に開催されました。大会には大阪、岡山、広島、島根、山口県内から合わせて約400人が参加しました。

開会式の後、7面の試合場で形の競技が始まりました。続いて午後からは組手の競技が開催され、各試合場で熱戦が繰り広げられました。



長

門の

People

生命を産み出した海を

みんなの力で守っていく

母なる海を守る会 井上義さん

5月12日(日)、油谷向津具大浦の海岸で大規模な海岸清掃が開催されます。

これは、母なる海を守る会を中心にビーチクリーン大作戦として5年前から行われているものです。昨年と同様に今年も、日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃の一環として行われることとなり、その活動の重要性が高まっています。

井上さんたち「母なる海を守る会」のメンバーは、県や市との協議、チラシ作りなど準備に追われています。

環境に優しい暮らしを

高校を卒業後サラリーマンとして働いていましたが、「このまま経済が発展して環境が破壊されていってもいいのか」という疑問を抱き、24歳で会社を辞め、環境と向き合うことのできる自給自足の生活を始めました。

俵島を見て一目惚れ

移住するための場所を探そうと全国を旅し、「油谷島が

良いよ」と聞き訪れた俵島の景色に一目惚れ。昔と変わらない風景が残るこの地に移住したのが10年前のことです。

ビーチクリーン大作戦

目の前に広がる海岸にはごみが多く、ひとり海岸清掃をしていました。しかし、個人では解決できません。何とかしなければと考えているとテレビで取り上げたいという話が舞い込んできました。メディアの協力で開催した第1回目は成功裏に終わり、今年で6回目となるこの活動。「行政のバックアップや地域、参加者の力で続けてこれた。環境に生かされていることに気付いて欲しい」と話します。

海は「お母さん」

海の栄養源であるミネラルは、山から運ばれています。そこで、塩作りの際に出る「にがり」をまいてミネラルを山に還すという新たな取り組みを計画しています。こういった地道な活動が、環境破壊から地球を救う道しるべとなるかもしれません。